

平成15年度 全国中学校体育大会
第33回 全国中学校バスケットボール大会

輝く瞳 燃える情熱 ~若人の夢 この北の大地に~

【試合結果】

女子		予選Jリーグ	
日時	平成15年8月 22日 (金)		14:50 ~
会場	北海道立総合体育センター(きたえーる)		Bコート 第5試合
結果	東海大付翔洋 (静岡)	53	33 北星学園 (北海道)
主審	林 利哉 (千葉)		副審 植木 信吾 (福島)

【戦評】

ともによく守りよく走り、1試合目を勝ち抜いて予選リーグ1位通過の座をかけて、東海ブロック代表の東海大付翔洋中学校と地元札幌市代表の北星学園女子中学校が対戦。好ゲームが期待される。

1クォーター、北星学園女子中学校#12佐々木のフックシュートで先制。シュート後の1-2-2のゾーンプレス、ハーフの2-3ゾーンで東海大付翔洋中学校の高さを封じる。対する東海大学付属翔洋中学校は何とかリズムを取り戻そうとするが、インサイドを固められ思うように攻撃できない。終了間際#14久保田のシュート、#4本間のインターセプトから#7古井のバスケットカウントで5-10と反撃ムードで終了。

2クォーター、トスアップから#7古井が再びバスケットカウントを、#8渡辺がレイアップを決め追いつく。北星学園女子中学校も#13三浦、#11藪本の果敢なドライブで応戦するものの、出だしの勢いを止められてしまい、14-22の8点ビハインドで前半終了。

3クォーター、東海大付翔洋中学校の#4本間のドリブル突破やリバウンドシュート、#9松下のジャンプシュートが確率よく決まり、北星学園女子中学校は残り3分の#9寺島の3Pが決まるまでノーゴールに抑えられ、19-42と大きくリードを許す。

4クォーター、北星学園女子中学校は積極的なディフェンスと、#12佐々木、#14佐藤の3Pで残り4分で30-45と追い上げ会場を沸かせるものの、集中力を取り戻した東海大付翔洋中学校に突き放され、53-33で終了。

東海大付翔洋中学校の、リードされても冷静な試合運びには安定感があり、敗れた北星学園女子中学校も2年生中心のチームながら最後まであきらめないゲーム運びは立派である。決勝トーナメントでの健闘を期待したい。

小笠原輝幸(北広島緑陽中)

【個人トータル表】

東海大付翔洋(静岡)						
	氏名	得点	3P	2P	FT	反則
4	本間 香葉子	10	0	4	2	1
5	菊地 有	10	0	5	0	3
6	鈴木 萌水	0	0	0	0	2
7	古井 枝里	15	0	6	3	1
8	渡辺 未来	6	0	3	0	0
9	松下 文香	6	0	3	0	0
10	栗田 紗織					
11	田 あすか					
12	竹内 春香					
13	山下一菜					
14	久保田真梨子	6	0	3	0	0
15	長田 紗季					
16	山梨 瑞穂					
17	外村 悠貴					
18	青木 紀江					
	合計	53	0	24	5	7

北星学園(北海道)						
	氏名	得点	3P	2P	FT	反則
4	竹内 彩					
5	村中 彩	5	0	2	1	4
6	江口 里佳					
7	佐々木アユミ	0	0	0	0	1
8	山田 知佳	3	1	0	0	1
9	寺島 秋子					
10	石栗 舞子	6	2	0	0	2
11	藪本 直子	9	1	3	0	1
12	佐々木佳奈依	5	1	1	0	2
13	三浦 春日	2	0	1	0	2
14	佐藤 美樹	3	1	0	0	0
15	福嶋 優佳					
16	尾崎 里沙					
17	太田 結					
18	長屋 萌美					
	合計	33	6	7	1	13

【リーグ戦績】

	北星学園 (北海道)	東海大付翔洋 (静岡)	五日市 (広島)	勝敗	順位
北星学園 (北海道)		33 (10-5, 4-17, 5-20, 14-11)	63 (13-12, 17-12, 20-11, 13-8)	1勝 1敗	2位
東海大付翔洋 (静岡)	53 (5-10, 17-4, 20-5, 11-14)		60 (14-7, 20-11, 11-8, 15-9)	2勝 0敗	1位
五日市 (広島)	43 (12-13, 12-17, 11-20, 8-13)	63 (7-14, 11-20, 8-11, 9-15)		0勝 2敗	3位